

令和6年度事業報告書

I. 公益目的事業

ア. 研究交流、研究環境活性化事業

1. 外国人研究者生活立ち上げ等支援業務

1) ((国研)物質・材料研究機構から受託)

物質・材料研究機構の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援を行った外国人研究者は 197 名、支援件数 1,912 件であった。

2) ((国研)国立環境研究所から受託)

国立環境研究所の外国人研究者に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は 11 名、支援件数 24 件であった。

3) (国立大学法人筑波大学から受託)

筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は 1 名、支援件数 2 件であった。

4) (大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構から受託)

高エネルギー加速器研究機構の外国人研究者等に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は 67 名、支援件数 251 件であった。

5) (オートリブ株式会社から受託)

オートリブ(株)の外国人社員に対する生活立ち上げ支援等を行った。支援した外国人研究者は 6 名、支援件数 10 件であった。

6) 外国人研究者等総合保険制度創設

(自主事業)

我が国に在留する（短期滞在を含む）外国人研究者の傷害、疾病、事故等のリスクに備え、我が国での研究生活をサポートする保険制度を提供した。今年度の新規利用申請は 23 件。既承認機関の 170 名に対して保険を付与した。なお、現時点での組織単位を含めた承認数は 118 である。

2. 外国人研究者交流・生活確保事業

1) 外国人研究者宿舎生活サポート事業

((国研)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎である JST 二の宮ハウスにおいて居住者の支援をした。

外国人研究者が来日当初から日本で円滑に生活し、研究活動に専念でき

る環境を提供する業務を推進した。

利用者数：

二の宮ハウス：331 件（36ヶ国）

2) 外国人宿舎管理運営事業

((国研)科学技術振興機構から受託)

筑波研究学園都市の研究開発法人等で研究に従事する外国人研究者及びその家族のための宿舎である JST 二の宮ハウスの良好な管理運営を実施した。

3) 宿舎関連業務

((国研)科学技術振興機構から受託)

- ・二の宮ハウス退去時清掃調整業務を行った。
- ・竹園ハウスの巡回警備業務及び鍵の管理業務を行った。

3. 科学技術関係者国際交流プログラム支援事業

1) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）関係業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

「R6 年度 日本－アフリカ交流オンラインイベント」における運営支援を行った。

2) 「さくらサイエンスクラブ（SSC）」の運営事務局業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

「さくらサイエンスプログラム」参加者のネットワーク形成を目的とし設置された「さくらサイエンスクラブ」の事務局業務（現地（台湾、インド）同窓会及びハイブリッド同窓会（日本）などの開催、名簿作成、ホームページによる情報提供、掲示板内の質問及び問合せメールの返信業務、メールマガジン配信、マイページ内の情報収集、アンケートの集計等）を行った。

3) 令和 6 年度 NEXUS 事業説明会兼さくらサイエンスクラブ同窓会開催における運営支援等業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業「NEXUS」の取組みの一つである「若手人材交流プログラム」の新事業説明会兼さくらサイエンスクラブ「SSC」同窓会の効率的かつ効果的な開催を目的とした運営支援等業務として、現地（マレーシア、インドネシア、タイ）同窓会を開催について、調整業務と現地での支援を行った。

4) 国際研修会の企画・実施

(自主事業)

(本年度は事業の執行がなかった。)

5) 「日本科学技術関係者訪中業務」

(在日中国大使館請負業務)

在日中国大使館が主催する日本科学技術関係者の中国訪問に関する支援業務（訪問者の選定、ビザ申請の支援業務、訪中スケジュールの作成、訪問先機関との調整、国際航空券の手配、中国現地宿泊、交通移動などの手配、現地通訳、引率随行、調整業務及び報告書の作成）を行った。

イ. 情報収集、調査研究事業

1. JISTEC Report 等の発行

当センターの活動等を広く一般に公開するため、「JISTEC Report」Vol. 93 を日英併記版として発行した。

2. 中国語ポータルサイトに係るコンテンツの作製、更新等の業務

((国研)科学技術振興機構請負業務)

(国研) 科学技術振興機構 アジア・太平洋総合研究センターの WEB サイト「客観日本」(中国語 HP) に関する記事作成及び中国語翻訳作業を行った。

3. 日印大学等フォーラム

(株)JTB 請負業務)

(株)JTB が科学技術振興機構より受託した事業の支援業務（日印の大学との調整、現地での受付、準備等支援、業務マニュアル、運営マニュアル、報告書の作成）を行った。

4. 中国関連訪日支援事業

(株)JTB による委託業務)

(株)JTB が（公財）日中友好会館より受託した訪日プログラムの支援業務（訪日者のビザ申請支援業務、日本の訪問先との調整、通訳支援業務）を行った。このプログラムは主として植林・植樹をテーマとしており、小・中学生、高校生、大学生、研究者、芸術関係者等の招へい 9 回（総招へい数 572 名）であった。

5. 各国の教育と科学技術イノベーションの現況調査

(新技術振興渡辺記念会による委託調査業務)

科学技術イノベーションの振興のための人的基盤の強化に関して、各国の教育と科学技術イノベーションの現況に関する調査研究を行った。

調査結果については、自主事業として出版することとした。

6. ASPIRE 半導体分野および通信分野 2023 年度採択課題のワークショップ開催に係る関連業務

((国研)科学技術振興機構標準契約条項による（請負契約）業務)

東京都市大学において開催された会議において、ハイブリッド環境の設定および配信。参加者の名札の作成。ネットワーキングの手配を行った。

II. その他事業

1. 講演会の開催

（自主事業）

社会的に関心の高いテーマを選定し、「科学技術・文化交流サロン」等講演会を令和 7 年 2 月 26 日に第 27 回サロンをアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催した。

2. 科学技術関係者の研修会の開催

（自主事業）

（本年度は事業の執行がなかった。）

3. ホームページによる情報の提供

（自主事業）

ホームページにより、外国人研究者の日本受入れ促進に資する情報、日本滞在における生活支援情報及び外国人宿舎情報等を提供した。

4. 科学技術議員等国際交流基金運営事業

（本年度は事業の執行がなかった。）

5. 芦田基金運営事業

芦田基金の趣旨に沿って、優秀な女性研究者の顕彰（輝く女性研究者賞（JST 主催））に関して必要な助成事業を行った。